



Since 1972.2.24

帯広西ロータリークラブ

3

2011, March

第1895回例会

平成23年3月17日

会報



THE ROTARY CLUB OF OBIHIRO WEST
Weekly Report

<http://www.tokachi.co.jp/wrotary/>



地域を育み、大陸をつなぐ

【会員卓話】山田倫一郎 会員



会長報告

会長 鈴木 享



3月11日の東北地方・太平洋沖地震は、この国の有史以来の大惨事といえます。いまもってその全貌すら把握できない状況です。悲痛な思いで亡くなられた多くの方に、心からの哀悼を表し、ご冥福を祈りましょう。また、会員皆さんのご家族、ご親戚、友人・知人、あるいはお仕事で関係がある方など、多くの方が被害に遭っておられることと思います。心からお見舞いを申し上げます。

今日は皆さんにお願いがございます。いま我々ができることの一つ、義援金についてのお願いです。例会前に臨時の理事会を開催し、協議を致しました。結論から申し上げますと、「原則として、お1人1万円以上の義援金」をお願いしたい。しかしながら、種々事情もあることを勘案し、強制とは致しません。ご家族、身内に不幸、被害があったという方がおられるかもしれません。それは当然、そちらへの御援助が最優先となります。また、お仕事や何らかの関係でそちらを通じて支援をされるという場合もあることと思います。さらには、もうすでに義援金なり援助物資なりを行なったという方もおられるかもしれません。その意味で、強制ということにはなりません。また、「原則として1万円以上」という金額についてですが、高額であり、本来、金額を指定することではないと思います。しかし、この国の有史以来の大惨事を前にしても、我々ができることは残念ながら限られており、沈痛な思いを義援金に込めるしか術がありません。2500地区ガバナー事務所からも要請が来ており、全国のロータリークラブが等しく取り組んでおります。そしていまこそ、「私はロータリアン」ということを思い、そのことを嘯みしめたいと思うのです。

さらに、帯広・十勝は、かつて2回の十勝沖地震において、全国から支援を受けてもおります。配慮不足、言葉足らず、異なるご意見があるかと思いますが、義援金につき何卒ご理解をいただき、ご協力を、理事会として皆さんに伏してお願い申し上げます。折角の例会を心が重いものにしてしまいました。申し訳ありません。でもやはり今は、目を背けることはできません。

会 長	鈴木 享	広報委員長	高田 晃一
副 会 長	土肥 孝紀	広報副委員長	奥田 頼昌
副 会 長	齋藤 憲生	委 員	柳沢 一元
幹 事	古田 敦則	委 員	大須賀眞太郎
会 計	小甲 哲士	委 員	谷脇 正人
S A A	若林 剛	委 員	河西 智子

2011年3月
識字率向上月間
世界ローターアクト週間

たいまつ宣言

- 1.我々は 垣根のない交流を目指し 友情の輪を拡げる
- 1.我々は 他に依存することなく 自らを発する
- 1.我々は 常に変革をもって 行動する
- 1.我々は 自己の研鑽の為に 真の奉仕を実践する
- 1.我々は 生涯現役であり 活動に引退はない

出席状況報告

月/日	2/3	2/15	2/24	2/27
例 会	1890回	1891回	1892回	1893回
会員総数	62名	62名	62名	62名
出席計算に用いた会員数	55名	53名	56名	57名
ホームクラブ出席	49名	41名	43名	29名
メイクアップ	6名	12名	13名	28名
出席率	91.7%	88.3%	90.3%	96.6%
月平均	91.7%			

今月の主な行事

- 3月10日 結婚・誕生祝
- 17日
- 24日 夜間例会・ローターアクト合同例会
- 31日 休会



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
 創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

点鐘

開会宣言

ロータリーソング(奉仕の理想)

会長報告

会務報告

震災の被害の状況に毎日絶句することばかりです。私たちに何が出来るかと毎日考え、少しでもお役にになりたいと私自身も思っております。先ほどの鈴木会長のご理解頂き、お一人のロータリアンとして支援の手を差し延べることに協力お願いいたします。お一人原則として出来れば1万円以上の御支援を頂きたいということでもあります。勿論強制ではありませんので、それぞれのお立場の中でお願い致します。今例会終了後と次回例会開始前後で集めたいと思います。領収書はクラブとしての仮領収書を発行します。税込上の優遇対象になると思っていますので、確認後正式な領収書に変えさせていただきたいと思っております。ガバナー輩出クラブでありますので力強い先陣を切りたいと思っておりますのでどうか宜しくお願いします。

鈴木 享会長

堂山啓太副SAA

鈴木 享会長

古田敦則幹事



委員会報告

次年度会長 三野宮 功会員

お手元に2011-2012年度帯広西RCの役員理事委員会の名簿をお配りいたしました。来年度は40周年もあり色々とお忙しくさせてしまうこともあるかと思いますが、このメンバーで頑張っていきたいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。



ロータリーの友地区代表委員 川田章博会員

現在の大震災に関わる
日本RCの状況について
東京の状況について



3月14日に友の会議で東京の予定でした。11日大震災後、14日朝まで友の事務所と連絡がつかず、飛行機に乗る直前に中止の連絡が来ましたが、震災の話が出るだろうと、友の事務所に行きました。皆さんご存知の安平さん(地区大会

講師)、友の委員長と所長の渡辺さん、編集委員長と4人で震災の状況を話しました。前日は帰れず泊り込みだったとのこと。私鉄、JR関係は運転を殆どしていなくて、外から来られない状況でした。スーパー、コンビニも食料が空っぽの状態でした。東京に有線放送があることが驚きでしたが、6時前に帰りましょうと有線放送が流れ、パチンコ屋も外も、一部の飲み屋、食べ物屋がオープンしている状態でした。RC地区の動きは、各地事務所が相当速く動いていて、富山石川2610地区は一人2万円の義援金ノルマを課していましたが、神戸あたりの地区は、どのように捻出されたのかわかりませんが、RCだけでも10億を超えているそうです。当クラブはガバナー輩出クラブですので、他クラブに先駆けてみなさんの出来ることを提案させていただいてはと鈴木会長にもお話ししました。どうぞ宜しくお願いいたします。

もうひとつ、お伝えしたいのは、シェルターボックスというボランティア組織のことです。イギリスにありまして、お金は世界のロータリーメンバーの厚志によって活動している組織です。このような災害があった時に、被災された方々が当座生活できるものが入っているグリーンボックスをいち早く被災地に運ぶという活動をしています。

驚いたのは、今回、友の委員長にシェルターボックスを届けるからロータリーの幹部を紹介せよとの英文メールが届いたのですが、そのメールの日付は11日の夕方5時59分でした。地震と津波のことが中に書かれていて、ボックスを届けるのでロータリーが先導して届けてくれとのことでした。ボックスにはロータリーマークがついていて、運搬はマーク付きの車で、HPのアドレスも書いてあり、被災状況も翌日にラインナップされているという活動をされています。本当の意味での奉仕を、自分たちでお金を拠出しながらやっている組織があることをご理解いただきたいのと、我々にとって未曾有のときにどのように自分ごととして捉え、どのようなロータリアンとしての活動が出来るのか問われていると思ってお伝えいたします。私も友に出させていただき、随分勉強させていただき有難かったと思います。皆さんの善意を表すご芳志を何卒お願い申し上げます。



職業奉仕委員会 山田倫一郎委員長

今、東日本大震災で大変なことになっている時にこんな呑気な話をしてもよいのだろうかと思いが引けるのではありますが、何卒ご容赦下さい。これからの話は、主に毎月配布されています雑誌「ロータリーの友」、それから第2500地区のパストガバナー北見ロータリーの海田司さんのロータリーの「心もとめ」という表題の月信書簡集、昨年帯広西ロータリーが主催しました第2500地区年次大会での安平和彦さんの講演（ロータリーの職業奉仕と日本の伝統的実業倫理）、その他2010年の手続要覧、およびロータリーのwebサイト等からの寄せ集めで御座いますので、何卒宜しくお願ひします。

1905年、今から100数年前に、『会員相互の親睦と扶助』を目的とし『1業種1人の会員』を原則とするロータリーという名前を持つクラブが作られました。創立当時のクラブ綱領は、1. 会員の業務上の利益を振興する。2. よき朋友精神の促進。3. 地域社会の最善の利益関係の増進、という実利的なものでありましたが、此の間ロータリーのクラブ内において、会員の間だけに独占されている利益を地域社会の他の人達にも広めるべきであるという気運が高まってきて、ついに1911年には『無我の奉仕』とか『超我の奉仕』とか『最も奉仕する者 最も多く報いられる』という様な精神的な理念が提唱される様になりました。このように急速に職業奉仕に対する考えが深まっていき、1915年には、全職業人に対する『ロータリー職業倫理訓』がサンフランシスコにおけるロータリークラブの年次大会で決議されるまでになりました。この『職業倫理訓』は11箇条からなっており、この11箇条の道德律の神髓を十分に自分のものにし、それを、5箇条の条文に圧縮して古沢丈作さんが1928年に発表した『大連宣言5箇条』を紹介させていただきます。

この『大連宣言』は、すでに何回か紹介されていると思いますので、会員の皆様は先刻ご承知の方も多いと思いますが、これを読み上げさせていただきます。

1928年（昭和3年）に起案された大連宣言は文語調の漢語体で書かれ難しい漢字が使われてお

- 鈴木 享会長 鎮痛の狂歌『報道に 言葉を失う 3.1.1. 何をすべきか 何を思うべきか』
- 久保 忠正会員 被災地の八戸ロータリーの医師・種市さんから祥雲のメールのお礼が届きました。「ご好意は大切にしてお写真とロータリーの友の紹介をさせて頂きます。（毎月担当委員会から紙面の報告があります）この美しさに会員の皆さんも感動すると思ひます」と、ただきましたが、心からお見舞い申し上げます。2500地区でロータリーの友4月号には留辺蘂の方が、その次に我が鈴木会長が登場、掲載されるようです。
- 奥 敏則会員 次年度委員会構成を発表させて頂きます。1年よろしくお願ひします
- 金尾 剛会員 うれしいニコニコではありませんが、この度(株)帯広国際の経営を務める事となりました。当西クラブのOICの会員の方々には、今回の件で大変ご迷惑をお掛けした事、この場をお借りしてお詫び申し上げます。と同時に、今後も今までと同様に御愛顧をして頂けます様宜しくお願ひ申し上げます。
- 山田倫一郎会員 本日職業奉仕のプログラムです。よろしくお願ひ致します。

り、今では判読するにはかなり難しい文章になっていますが、幸いこの大連宣言に読みがなをつけたものとその口語訳がありましたので、それをご紹介します。読み方は主として北見ロータリーの海田司さん、口語訳は留辺薬ロータリークラブの岡村利夫さんによるものであります。それでは読み上げさせていただきます。皆さんのお手元に配布したペーパーの右の文が原文で左側がその口語訳です。

第4条の原文の「義」という漢字が口語訳では「徳」という字になっていますが、これはこの口語訳をした岡村さんの深い思索の結果の言葉かと思いますが、私は大阪北ロータリークラブの口語訳「正義のために集まり、信頼の絆で結ばれ」のほうが適切でないかと思えます。

これを書いた古沢文作さんの紹介を致します。1928年、古沢さんは47歳にして日清製油大連支店長として大連に赴任、出来たばかりの大連ロータリークラブに入会しますが、ロータリーを

一日も早く、深く理解するために、1915年に決議されたロータリー職業倫理訓の11箇条を英文で毎晩暗唱することを日課としたそうですが、その精進は5箇条の大連宣言となって結実し、1928年に発表しました。この大連宣言は翌年1929年に日本ロータリーの創始者である米山梅吉翁に激賞されることとなり、さらに1936年(昭和11年)には神戸における地区大会で大会宣言として採択されました。国粹主義の傾向が強くなっていく中であって、この大連宣言は日本ロータリアンのバックボーンとなったと言われており、今もなお高い評価を得ております。また古沢文作さんは、戦後東京ロータリークラブ会長にもなり、米山記念奨学会設立に力を尽くし、1955年74歳で逝去いたしました。以上でございます。

閉会宣言
点鐘

堂山啓太副SAA
鈴木 享会長

ロータリー宣言 (原文)

- 第1 須らく事業の人たるに先立ちて道義の人たるべし。蓋し事業の経営に全力を傾倒するは因って世を益せんがためなり。故に吾人は道義を無視して所謂事業の成功を獲んとする者に与せず。
- 第2 成否を白うに先立ち退いて義務を尽くさむことを思い進んで奉仕を完うせんことを念う。自らを利するに先立ちて他を益せむことを願う。最も能く奉仕する者、最も多く満たされるべきことを吾人は疑わず。
- 第3 或は特殊の関係を以て機会を壟断し、或は世人の潔しとせざるに乗じて巨利を博す、これ吾人の最も忌む所なり、吾人の精神に反してその信条を紊るは利のため義を失うより甚だしきは無し。
- 第4 義を以て集まり、信を以て結び、切磋し琢磨し相扶け、相益す。これ吾人団体の本旨なり。然れども党を以て厚くすることなく他をもって拒むことなく私を以て党する者にあらざるなり。
- 第5 徒爾なる角逐と鬭争とは世に行なわねばならず、協力以て博愛平等の理想を実現せざるべからず、然り吾が同志はこの大義を世界に敷かむがために活動す。吾がロータリーの崇高なる使命茲に在り、その存在の意義亦茲に存す。

(大連ロータリークラブ宣言 1928年 会員 古沢文作 起草)

ロータリー宣言 (口語訳)

1. 事業をなす人は、事業家である前に道徳を重んじる人でなければならない。事業の経営は、まさに社会のためになることを目指してなされるものなのである。したがって、私たちロータリアンは、道徳を無視して事業の成功を獲ようとする人には賛同できない。
2. 成否を問う前に、義務を果たし奉仕を全うすることを願う。自己の利益を図る前に、他人の利益を願う。最もよく奉仕する者は、最も多く満たされるものであることを、私たちロータリアンは信じて疑わない。
3. 特別の関係をもちて機会を独占し、あるいは人々の潔いと考えない手段を持って巨利を得ることは、私たちロータリアンの最も嫌うところである。また、利のために道徳を無視する行為ほど、ロータリーの奉仕の精神に反し、ロータリーの信条をないがしろにするものはない。
4. 徳をもって集まり、信頼しあい、切磋琢磨し、助け合い、共に益しあう。これが、ロータリー設立の目指す趣旨である。しかし、ロータリーは自分たちだけで党を組んで、他を拒むような狭小なものではない。
5. むだな競争や争いは社会で行われるべきではない。協力をもって博愛平等の理想を実現するべきである。この理想を世界に広めるために活躍することが、私たちロータリーの崇高な使命であり、その存在意義である。

(留辺薬ロータリークラブ 岡村利夫会員)